

質 問 回 答

2016 年 4 月 6 日

「(案件名)ネパール国地方都市における水道事業強化プロジェクト・フェーズ 2」

(公示日:2016 年 3 月 23 日/公示番号:160086)について、いただいた質問と回答は以下のとおりです。

通番 号	当該頁項目	質問	回答
1.	12 頁 成果 2.3 NWSSTC ビジネスプ ランを改訂する。	NWSSTC は研修施設であり、ビジネスプランというよりも組織再編等が主となると考えられる。提案書の中では「ビジネスプランの改定＝組織面での変更」という理解で宜しいでしょうか？それとも 12 項成果 2-3 及び 23 項(17)に記載されているように既存のビジネスプランがあると理解してよろしいでしょうか。	NWSSTC のビジネスプランはネパール語文書であり完全に英訳されていないため、詳細な内容は調査開始後に分析する必要がありますが、基本的には研修事業の実施計画書となっています。但し、本プロジェクト内で改訂するビジネスプランにおいて組織再編を含めることは問題ありません。
2.	17 頁 (4)多様な水道 事業形態に即した WASMIP モデルのバ リエーションの確立及 び展開	4 行目に「原水タイプ(表流水...,地下水砒素汚染の有無...)」との記載があるが、貴機構として現在、地下水に砒素が含まれている原水を用いている WUSC を把握しておられますか？もし把握しているならばどこが該当するかご教示いただきたい。また、砒素汚染を考慮した場合、砒素除去の専門家を投入することが望ましいと弊社は考えるので、この分野での追加人員の提案は可能でしょうか？	今回のパイロット WUSC の一つであるナワルパラシ郡の Ramgram の水源(深井戸)において砒素汚染が報告されています。 業務従事者構成に関する追加提案が可能である旨は業務指示書にも記載のある通りです。
3.	17 頁 (5)ネパール側 自己資金による施設 整備・補修のための体 制整備に向けた助言	8 行目に「WUSC により施設補修制度が十分に活用されるよう、研修内容にも盛り込むこと。」との記載がありますが、これは国内制度が認知・周知されているかという問題であり、研修のみならず、組織にて提案する内容としても良いでしょうか？	組織においてもご提案いただいても構いません。
4.	21 頁 (5)パイロット WUSC 及び一部対象	5 行目に「プロジェクトによる補修費用総額は最大で 1000 万円程度を想定している」との記載がありますが、これは現	大原則としては上限 1000 万円程度ですが、増額が必要となるやむを得ない理由がある場合はその限りでは

	WUSC における施設補修の実施	地での状況により増額変更は可能でしょうか？	ありません。事業開始後に個別相談下さい。
5.	30 頁(エ)その他、詳細に関しては特に規定しない(添付のサンプルを参照のこと)。	参照先とされるサンプルはどれになりますでしょうか？	配布資料より漏れておりました。JICA ネパール事務所(np_oso_rep@jica.go.jp)にて共有しますのでお問い合わせください。
6.	33 項現地再委託及び34 項見積もりの分類	現地再委託でア)パイロット事業の選定、計画では、11 項【成果 1 に係る活動】及び 21 項(4)に記載されている WUSC のベースライン調査(技術、財務、管理、組織)を含めてもよいと理解してよろしいでしょうか。	業務指示書に記載の通り、その他業務についても JICA の承諾が得られれば現地再委託が可能です。JICA は受注者より提案される再委託計画の有効性、実施可能性に基づき、その可否を判断します。

以上